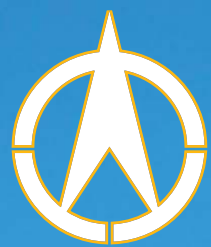


おおいずみ



議会だより

No. 79

2018.1.25

発行／大泉町議会
編集／議会広報
編集委員会

主な内容

12月定例会開催	P 2～
議案賛否一覧表	P 4
町政を問う一般質問	P 5～
委員会研修視察報告	P 8～
平成30年度予算要望	P 11
議会トピックス・編集後記	P 12



第5回定例会を開催！

平成29年第5回定例会が12月12日(火)～14日(木)までの3日間の日程で開催されました。

平成29年度大泉町一般会計補正予算、平成29年度大泉町国民健康保険事業特別会計補正予算、平成29年度大泉町介護保険事業特別会計補正予算など、報告3件、承認1件、議案12件、発議1件、合計17件について審議しました。

一般質問には6人の議員が登壇し、「農業振興について」「教育環境の充実について」「移住定住の促進について」「英語教育の充実について」「学校教育の充実について」「マイナンバー（個人番号）制度について」などを質問しました。

詳しくは、会議録（町図書館）または町ホームページ内の議会インターネット中継のページをご覧ください。

平成29年度 一般会計・特別会計補正予算を審議

平成29年度の一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、下水道事業特別会計の補正予算が議案として提出され審議しました。

各会計の主な補正内容は、次のとおりです。

□ 一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9379万円を追加して、歳入歳出の予算総額は126億5389万円とする。
歳入の主な内容は、繰入金9529万円、国庫支出金5421万円、県支出金2640万円などを追加。
歳出の主な内容は、教育費9708万円、民生費5315万円、商工費3634万円などを追加。

□ 国民健康保険事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1228万円を減額して、歳入歳出の予算総額は48億1552万円とする。
歳入の主な内容は、繰入金1357万円減。

歳出の主な内容は、後期高齢者支援金867万円減。

□ 介護保険事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ344万円を追加して、歳入歳出の予算総額は25億2901万円とする。
歳入の主な内容は、繰入金198万円、国庫支出金138万円追加。
歳出の主な内容は、総務費322万円追加。

□ 下水道事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ941万円を減額して、歳入歳出の予算総額は7億8198万円とする。
歳入の主な内容は、繰入金1646万円減。
歳出の主な内容は、事業費992万円減。

以上、慎重審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。

大泉町事務分掌条例一部改正を審議

大泉町事務分掌条例（平成21年大泉町条例第31号）の一部を改正する。

「社会福祉部」「健康推進部」を「健康福祉部」へ、「住民生活部」を「住民経済部」へ

大泉町住居表示審議会条例（昭和61年大泉町条例第3号）の一部を改正する。

「住民生活部」を「住民経済部」へ

ワンストップサービスの推進を図るためと、業務の効率化を高めるために平成30年4月1日から変更されます。



平成29年大泉町議会

発議第2号を審議

市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

提出者 田邊 信雄
賛成者 宮永万里子

一、市町村道路整備事業が計画的に進捗できるよう、必要な交付金予算の事業費総額を持続的に確保すること。
一、長期安定的に道路整備が進められるよう、一道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律（昭和33年法律第34号）の補助率等の嵩上げ措置を平成30年度以降も継続すること。

以上、意見書の提出について、慎重審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。なお、本意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、議長名をもって関係機関へ送付しました。

提出先
衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・総務大臣
財務大臣・国土交通大臣

議員派遣結果報告

大泉町議会会議規則第128条第1項の規定による議員の派遣について

第1回

◎目的

議会広報先進地研修視察及び議会広報研究会

◎派遣場所

神奈川県寒川町及び東京都千代田区シエーンバツハ・サポ―

◎期間

平成29年9月27日(水)
～28日(木)

◎派遣議員

議会広報編集委員会委員
全員 7名
2日間

第2回

◎目的

町村議会議員研修会

◎派遣場所

吉岡町文化センター

◎期間

平成29年10月27日(金)

1日間

◎派遣議員

議員全員 15名

議会用語の解説について

請願と陳情

【請願とは】

国または地方公共団体等の公共団体に対して、その所管する事項に関し、一定の措置等の希望を申し出ることをいいます。

町議会に対して請願するときは、議員の紹介により請願書を提出しなければなりません。



【陳情とは】

一定の事項に利害関係がある者が、その事項についての実状を訴えることにより、国または地方公共団体等の公共団体に対して何らかの措置等を求めることをいいます。陳情は請願とは異なる



り、議員の紹介は必要ありません。

請願や陳情は町民皆さんの要望を町政などに反映させる一つの方法です。

【過去に採択された請願】

・奨学金制度の充実を国に求める請願（平成28年6月）

・年金引下げの流れを止めることを国に求める請願（平成27年9月）

・手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願（平成26年12月）

平成 29 年第 5 回大泉町議会定例会 会議結果及び議案等関係賛否一覧表

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果	
議案名		議員名	中尾大助	澁木茂	塚田義一	佐藤久芳	川島幸広	堀越幸広	須田敏彦	都丸裕史	宮永万里子	田邊信雄	山口将	浅野正己	青木満	渡邊明	森昌彦		
承認	第 4 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 29 年度大泉町一般会計補正予算（第 2 号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員	
議案	第 56 号	大泉町事務分掌条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 57 号	大泉町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 58 号	大泉町行政財産使用料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 59 号	大泉町町税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 60 号	大泉町都市計画税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 61 号	大泉町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 62 号	大泉町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 63 号	大泉町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 64 号	平成 29 年度大泉町一般会計補正予算（第 3 号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 65 号	平成 29 年度大泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 66 号	平成 29 年度大泉町介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
	第 67 号	平成 29 年度大泉町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
発議	第 2 号	市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員

※ 「○」 = 賛成（起立）、「●」 = 反対、「―」 = 欠席または不在

※議長は、採決に加わっていないため、「／」で表示

※採決結果の「全員」および「多数」は、可決成立（同意）を表す。「少数」は、否決不成立（不同意）を表す。

お詫びと訂正

議会だより 78 号（平成 29 年 10 月 25 日発行）に掲載されました「平成 29 年第 4 回大泉町議会定例会会議結果及び議案等関係賛否一覧表」の森昌彦議員の賛否について誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】

議案	第 40 号	町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	―	全員
----	--------	--------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

【正】

議案	第 40 号	町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	全員
----	--------	--------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

町政を問う

Q 子育て支援の充実について

A 保護者の負担軽減のため前向きに検討します



佐藤久芳 議員

長期休業中については選択式給食を要望しますが、町長のご見解をお聞かせください

町長

①利用時間については見直す時期に来ていると思っております。

保護者の方々の就労体系も多種多様化しており、そのような中、学童保育の利用時間については、働く町、企業の町とということからも前向きに検討していきたいと考えています

②選択式給食は可能だと考えています。保護者の方々にもお話を聞き、指定管理者とも協議をしながら保護者の負担軽減のため選択式給食の導入を実施していきたいと思っております

Q 学習指導の充実について

A 教職員の多忙化解消に向け、協議しています



堀越幸広 議員

児童生徒が多様な価値観や創造性を養い、学力を向上するためには、きめ細やかな指導の継続が指摘されていますが、この問題は教職員の果たす役割も大変重要です。近年の教職員には部活動や事務的なことまで負担が広がり、児童生徒へ

の学習意欲に与える影響が懸念されます。改善策としてティームティーチングを発展させ、複数担任制で授業を分けるか、小規模学級で担任教師の負担を軽減し、学習指導などに重点的に取り組める環境が必要です。もしその環境にないとなれば要因はどこにあるのかお聞きします。

教育長

中学校における部活動や、特別な支援を必要とする児童生徒への対応、保護者との相談、通学路の安全確保など業務は拡大しています。県教育委員会も教職員の多忙化解消に向け、教職員の勤務状況調査を行い協議しているところです。今後も校長会と相談しつつ、多忙化の解消と学習指導に力を注げる環境づくりに努めます。

①核家族化や地域社会とのつながりが希薄化し、共働きやひとり親世帯が増加傾向にあり、子育てと仕事の両立ができる環境づくりが求められている中、本町の学童保育は保護者会の皆様にご協力いただき、長期休業中は朝の利用時間を30分拡大しています。

働き方が多様化している中で、学童保育の利用時間見直しが必要ではないでしょうか

②学童保育の長期休業中は昼食を持参することになっていますが、働く保護者には長期休業中だけお弁当を作るのは負担になっています。そこで、



問 ！

Q 移住定住政策のさらなる展開を

A 移住定住者が増加するように取り組みます



中尾大助 議員

住促進にも大きく繋がると思います。町長のご見解をお伺いします。

町長

今後さらに本町へ移住者を増やし、将来にわたって住み続けていただくためには、快適で安定した暮らしができる環境が整っていることが絶対条件であり、それを維持、向上させることが必要だと考えます。本町は首都圏からそう離れておらず、十分通勤圏内であり、公共交通による首都圏へのアクセスが整えば本町の価値がさらに高まるものと考えます。また、空き家の利活用を進めることが移住定

住定住に対する条件は希望にあった仕事があること、そして、子育てをしやすいということだと考えます。本町は、両施策については他の自治体と比べ特に入力を入れて取り組んでいきます。また、首都圏へは通勤圏内ではありますが、公共交通の整備は現状、非常に難しい状況です。税金を投入して行うのではなく、官民一体でのやり方ぐらいいかないものと思います。

空き家の利活用に関しては、空き家対策計画に基づいて進めているところです。

今後も多くの方が定住するように企業誘致と子育て支援の充実を図っていきたいと思います。

Q シルバー人材センターの支援について

A 計画的に仕事がいくように検討します



川島 広 議員

材センターのさらなる充実が必要だと私は考えています。そこで、行政としてさらなる支援についてお聞かせください。

町長

シルバー人材センターは高齢者の生きがいを守り、さらには高齢者の健康維持にも一役買っていることは、町長もご承知のとおりです。高齢者の皆さんの活躍の場として、シルバー人

材センターのさらなる充実が必要だと私は考えています。そこで、行政としてさらなる支援についてお聞かせください。

町といたしまして、シルバー人材センターの理事長や事務局長に町の企業情報交換などに出席いただき、その中で実際に企業と契約ができた、仕事をもらったりしているところであり

今後は、町が取り組む新たな事業などでシルバー人材センターの方が活躍できるように仕事があれば積極的にお願いすると同時に、公園の剪定や除草なども計画的に仕事がいくように考えています。



(社)大泉町シルバー人材センター

町政を

Q 公園墓地増設と多様化する埋葬方法の対応は

A 新たな埋葬方法を検討していきます



澁木 茂 議員

①本町の公園墓地は、あと3年ほどで全区画が売られてしまう状況であります。今後の増設についてどのように考えているかお聞きします

②核家族化が進んでいく中で、先祖からの墓地・墓石の荒廃も問題視されています。共同墓地・樹木葬などは子や孫の負担軽減となるため、このような埋葬方法を希望する人も増えており、増設の際



Q 国民健康保険の保険税(料)を1円でも安く

A 被保険者の負担を特に配慮し決定します



渡邊 明 議員

①本町は人口増加も見込まれる状況で、増設の必要性はあると考えます。増設の計画をしっかりと立てながら対応していきます

②経済面での負担や墓守の負担を軽減する共同墓地や樹木葬などの必要性は感じています。

外国籍の方も定住化傾向にあり、高木にならないような施策も必要であると考えます。本町も先進地域の実施運営状況などを調査して、増設の際には実施できるように法的に担当機関と調査・研究し改めて連絡します

町長

にはこのような場所も必要であると考えますが、町長の考えをお聞かせください

Q 国民健康保険の保険税(料)を1円でも安く

A 被保険者の負担を特に配慮し決定します



渡邊 明 議員

国民健康保険の県統一に伴い、平成30年度から国民健康保険料は県が市町村に納付される納付金額と県が示す標準税率をもとに、各市町村が地域の実情を勘案して決定できることになりました。

平成28年度決算時の国民健康保険基金残高5億4356万4千円の一部を有効に活用し保険税(料)を今までより1円でも安く設定してください。

税の二重取りとも言われている資産割を廃止し、せめて邑楽郡内では、大泉町の保険税(料)が一番安くなるよう強く要望します。

町長

国民健康保険税については、国や県が制度改正による負担の上昇を抑制するため規制緩和措置に取り組んでおります。

本町の平成30年度の保険税率については、国民健康保険の財政状況を考慮しながら被保険者の負担を特に配慮した税率を決定していきたいと考えます。

住民の皆さんの負担が急激に増えないようにあらゆる点から配慮していきます。



保険税(料)は1円でも安く

委員会研修視察報告

総務文教常任委員会

平成29年10月16日(月)

【岐阜県高山市】

視察調査事項

まちづくり協議会の組織と運営について

少子高齢化や人口減少、ライフスタイルの多様化によるさまざまな地域課題の増加は、市政全般に影響を及ぼす重要な行政課題であり、未来を見据えてしっかりと取り組まなければなりません。しかし、多様化する市民ニーズや行政課題には、これまでの仕組みや体制で対応していくには限界があります。そういった中で、高山市では「市民が主役」という理念の下で、地域課題は地域で解決する「まちづくり協議会」を組織しています。顔見知りでの関係づくりが容易であることから、おおむね小学校区単位で協議会を設置し、地域内の団体、個人、事業者が地域の課題や特色に応じて活動を行っています。群馬県内35市町村の中で一番面積が小さい本町では、組織規模などの課題はありますが、一定の形ができるまでは、行政

として先導的な役割を果たしながら、地域の課題は地域で意見を出し合い課題の解決を図る「まちづくり協議会」の設置は、ぜひ推進するべきであります。



岐阜県高山市議会

平成29年10月17日(火)

【滋賀県長浜市】

視察調査事項

学校給食費の無料化について

長浜市では市民全体で子育て世帯の経済的な負担を軽減し、子育て世帯の流失や移住定住の促進につながるため市内27小学校の給食を無料化しま

した。人口10万人を超える都市においては、はじめての試みですが、平成29年度予算は2億6645万2千円となり、一般会計予算に占める割合は0・5%強で、財政への負担は大きいようです。本町では給食費の20%を補助していますが、給食費無料化は教育費負担軽減策など、国の動向を見定めながら慎重に取り組む必要があります。



滋賀県長浜市議会

平成29年10月18日(水)

【愛知県尾張旭市】

視察調査事項

危機管理体制について

消防団員の確保は全国的にも大きな課題です。尾張旭市で

実施している「消防団応援事業所制度」「学生消防団員制度」「少年少女消防団の結成」は、将来を見据えた取り組みとして期待できる事業と感じました。特に、将来の地域の消防の担い手として人材育成を目的とし、小学5・6年生を対象に結成された少年少女消防団は着実に定着しており、小・中・高校生の児童生徒47人が団員として活動しています。本町においても「消防団応援事業所制度」「学生消防団員制度」「少年少女消防団の結成」について、関係部局がしっかりと連携を図り、早期に実施すべきだと思います。



愛知県尾張旭市議会

委員会研修視察報告

平成29年10月11日(水)

【富山県魚津市】

視察調査事項

子育て支援事業について

蜃気楼のまち魚津市は、子育て応援アプリ「育ナビうおづ」を無料で利用することができ、子育て情報・市からのお知らせ・母子健康手帳・育児記録を自分のスマートフォンの中で管理できる施策をいち早く導入した先進地です。また、子育て家庭の精神的・身体的・経済



富山県魚津市議会

的負担の軽減を図るとともに、

地域における各保育サービスやサービスの利用促進のための「とやまっ子子育て応援券」を保護者に配布しています。本町においても、妊娠から出産、育児まで充実した支援体制の実施、ワンストップ拠点の検討が必要であると感じました。子育て世帯負担軽減のために、このような子育て支援策の実施が急務であることを実感しています。

平成29年10月12日(木)

【石川県金沢市】

視察調査事項

金沢版ネウボラについて

金沢市は兼六園、金沢城公園など歴史的建物や文化あふれる市であり、「妊娠から出産、育児まで切れ目のない支援体制」(金沢版ネウボラ)のためのワンストップ拠点(4か所)を整備している先進地です。また、NPO法人が運営する「母子健康手帳アプリ」を導入し、運用費用(38万円/年)を大幅に削減しています。本町におい

ても、スマートフォンの普及は周知のとおりであり、情報の共有においても即効性・保存性においても有効な施策でありま



石川県金沢市議会

平成29年10月13日(金)

【富山県射水市】

視察調査事項

空き家対策事業について

平成28年9月に新庁舎を竣工した射水市は、近代的な建物とシステムが同調した高効率

の業務を遂行しています。全国的にも課題とされている「空き家対策」は、空き家バンクの運営により空き家所有者、定住希望者、地元不動産業者、射水市が相互リンクして空き家低減を図っています。また、空き家の解体補助も実施しており、損傷度を4段階で区切り、損傷度のひどい2段階には上限50万円までの解体工事費の助成を実施しています。本町においても空き家対策を開始したばかりですが、しっかりと取り組んでいかなければならない重要施策です。



富山県射水市議会

議会運営委員会

平成29年11月14日(火)午前

【滋賀県大津市】

視察調査事項

- ・ 議会BCPについて
- ・ 政策検討会議について

災害時の議会活動において、代わりのきかない議員としての役割や、「議会の基本的機能を維持する計画がBCP」であり、非常時においても、議会が基本的な機能を維持し、業務を継続することを目的としていることを学びました。そのために、議場にヘルメットの設置やタブレットの活用、ハンドブックの作成、ダンボールを使った避難所設営などの取り組みを行っていました。実際に大津市が被害を受けた平成26年8月の台風11号時における「議会災害対策会議」設置時の課題などがあつたようです。本議会としても、より一層役割を果たせるように準備が必要であると感じました。

政策検討会議ですが、大学教授などのアドバイザー制度により、パートナーシップ協定の締結など様々な方法を検討しながら、本議会も政策討論会の

実現に向けて努力をするべきであると感じました。



滋賀県大津市議会

平成29年11月14日(火)午後

【京都府精華町】

視察調査事項

政策提言と自由討議について

議会基本条例の柱のひとつとして、「政策提言・提案」を掲げていることから、精華町議会の活性化が実践できているようです。前例にこだわらず試行・挑戦し「まずはやってみよう」の精神で行っていることなど、本議会でも「総合計画改定時提言」や「事務事業評価」などの提言をできるように、政策討論会を開催することで政策提言をしていくべきであると考えます。

自由討議に関しては、大きな

実績がなかったようですが、楽しく前向きに全会一致の合意形成を目標にし、ルールや規制がなく、実施手順のルールの必要性を学んだところでした。



京都府精華町議会

平成29年11月15日(水)

【京都府亀岡市】

視察調査事項

議会基本条例の検証と議員間自由討議について

議会基本条例の検証については、議会全体で定期的に検証作業を行い、また見直し基準を設け、2年に1回の見直しをしていることは見習うところであり、本議会も基本条例の定期的な検証を行うべきであります。その前提として、議会基本条例の勉強会の充実、議員研修の早急な実施に着手するべき

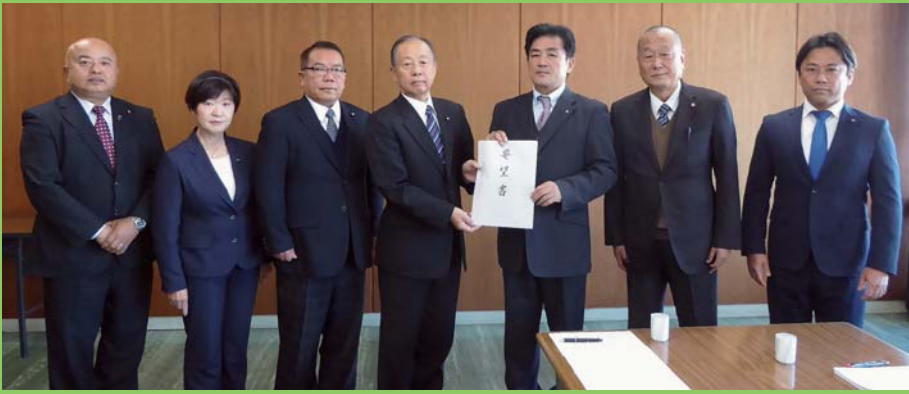


京都府亀岡市議会

です。また、本町の議会基本条例は理念先行型であり、先進地の経験を学び、一歩ずつ進めていくことが大切だと考えます。自由討議に関しては、様々な手法で行い全会一致を原則として委員長主導で行っています。また、議案審査時に自由討議を行い、付帯決議や議案訂正にも結び付けています。さらに、予算審議時も自由討議により、最終的な市長への質疑項目を決定しています。本町においても早急に具体化し、実践するべきですが、本会議では自由討議のルールを明確にし、委員会での導入を検証しながら着手するべきと考えます。また、視察内容と相違しますが、「会議へのパソコン等情報端末持込可」「政策研究会制度」「子ども議会」「議員研修制度」などの検討もするべきであります。

平成30年度 予算要望

平成29年11月17日
村山町長に提出



総務文教常任委員会

- 1 行財政の改革を積極的
に推進するとともに、収
納率向上と財政の健全
化に努めること
- 2 安全・安心なまちづくり
を推進すること
- 3 協働のまちづくりの充
実を図ること
- 4 行政サービスの充実と
公共交通の利便性向上
に努めること
- 5 職員の健康管理と人材
育成を推進すること
- 6 学校教育及び教育環境
の充実を図ること
- 7 地域の教育力充実と地
域文化・スポーツの振興
に努めること



総務文教常任委員会



民生産業常任委員会

- 1 障がい者自立支援対策
の推進・充実を図ること
- 2 高齢者支援対策の推進・
充実を図ること
- 3 子育て支援及び少子化
対策の推進・充実を図
ること
- 4 健康づくりの推進と医
療体制の充実を図ること
- 5 住民窓口業務のサービ
ス改善向上を図ること
- 6 産業振興と観光振興に
向け目標を立て積極的
な取り組みを図ること
- 7 環境保全と環境衛生の
整備を図ること
- 8 生活圏道路の整備及び
側溝の新設改修を図
ること
- 9 住環境の整備を強力に
推進すること
- 10 公園施設の充実及び管
理運営の徹底、都市計画
事業の促進を図ること
- 11 公共下水道の整備を積
極的に推進すること



民生産業常任委員会

議会トピックス

議員全員で救命講習を受講

- ◆日 時：平成 29 年 11 月 29 日(水) 午後 1 時 30 分～ 4 時 30 分
- ◆場 所：大泉消防署
- ◆研修内容：胸骨圧迫・人工呼吸の方法について
AEDの取り扱いについて
- ◆参加者：議員全員 15 人、事務局職員 2 人



救命講習



AED・胸骨圧迫訓練

お知らせ

次回の定例会は

3月2日(金)

午前 10 時～

予定しています

お問い合わせ ☎ 63 - 3111
内線 412

みなさん議会傍聴に来てください

役場 4 階の議会傍聴受付にお越しください。

受付簿に住所・氏名・年齢をご記入いただくと傍聴
できます。

議会日程は町ホームページでお知らせしています。

議会だより・会議録がホームページで見られます。

<http://www.town.oizumi.gunma.jp/>

編集後記

この「おおいずみ議会だより」は、編集委員になった議員が手作りしています。担当を決めて原稿を書いて持ち寄り、写真や文章をチェックし、レイアウトして約1ヶ月半、5回の議会広報編集委員会を開催して完成します。より良い広報誌を作成するために、研修などに参加して編集スキル向上をめざして努力しています。

日本全国の議会広報誌のコンクールもあり、上位入賞目指して日々研究しております。

どうぞ、ご愛読いただきますようお願い申し上げます。

澁木 茂

■議会だより文責

編集委員 青木 満
委員長 須田 敏彦
副委員長 中尾 大助

委員 澁木 茂
委員 塚田 義一
委員 佐藤 久芳
委員 川島 幸広
委員 堀越 幸広

委員 堀越 幸広



この広報紙は、自然保護のため再生紙とベジタブルインキを使用し作成しています。